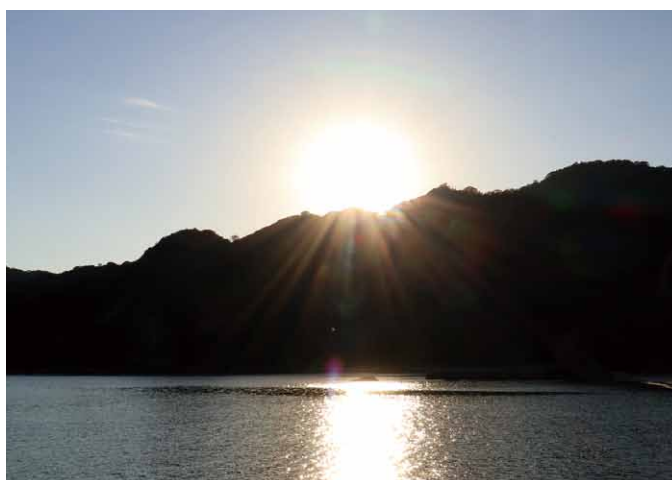




響

—HIBIKI—

延岡市男女共同参画情報誌 第37号

CONTENTS

響インタビュー	2～3
天下一光っちよる人	4～5
えるぼし認定・くるみん認定	6
大人もハマるYAの世界	7
私たちは異常気象にどこまで耐えられるのだろう／ 響さん紹介／編集後記	8

郷音

HIBIKI interview

延岡市副市長 インタビュー



あか ぎ しげ お

赤木 繁 男 副市長

かみ なお ま み

上 猶 真 美 副市長

延岡市の職員として企画課や教育委員会などで長年活躍され、昨年8月に副市長に就任された赤木副市長にお話を伺いました。

Q. 延岡への想いを教えてください。

A. 延岡生まれの延岡育ち。大学卒業後に、延岡に戻ることに違和感はありませんでした。子育てするなら、大好きな延岡でとの思いは強かったです。

Q. 延岡の魅力と延岡をよくするために考えていらっしゃることはありますか？

A. 延岡には自然や歴史文化など素晴らしい財産がたくさんありますが、「食」は大きな可能性を秘めていると思います。県に整備していただいたアスリートタウン延岡アリーナという新たな魅力も加わりました。これらの財産を活かしながら、まちが元気になる取り組みを進めていくことが重要だと考えています。そのためにも、つなぎ役として職員や市民のみなさんとしてしっかりコミュニケーションをとらせてもらいながら、「オール延岡」の体制づくりに力を尽くしていきたいと考えています。

Q. 延岡市職員時代で印象に残った仕事は何ですか？

A. いのちの杜の整備など様々な職務にかかわらせてもらいましたが、特に印象に残っているのはエンジン01オープンカレッジの開催です。120名を超える文化人が集うイベントですから、それまで県庁所在地規模の都市でしか開催できないと言われていました。官民一体となって取り組んだ結果、林真理子さんら著名な文化人の方々に史上最高の大会との評価と、「延岡の食は美味しい」とのお墨付きをいただけたことは本当にありがたいことでした。高速道路開通を記念しての開催でしたが、会場となった九州医療科学大学がなければ実現できなかったでしょうし、食の評価がのべおかタ

パスなどの東九州バスク化構想へと展開していったことなど、市政上の様々な取り組みが脈々とつながっていることを実感し、非常に感慨深いものがあります。まさに「つながるまちのべおか」です。

Q. お休みの日は何をされていますか？

A. リフレッシュのため愛宕山に登り、愛宕・春日両神社にお参りをすることを心がけています。最近はペペロンチーノなどパスタづくりに凝っています。今一つ、美味しくできないので、アルミのフライパンを買っていましたが、焦がしてしまいました。道具ではなかったようです。

Q. 男女共同参画社会について伺います。

A. よりよい暮らしを実現するためには人々が自分ファーストではなく、多様性を認め、受け入れる寛容さを持つことが大切だと考えています。今、世の中では様々なことがおきていますが、多様な価値観や能力を持つ人々がお互いを認め合いながら、それぞれに活躍できる社会となる必要があると思います。画一的な社会では面白みにかけますしね。お城の石垣は、石の形や並びが不均一、多様であるほうがより強固だと言われています。社会もそうあれば、よりしなやかで強くなるのではないのでしょうか。



まつりのべおかにて「水もしたたる・・・」

宮崎県庁のデジタル推進課や総務課などで活躍され、延岡市初の女性副市長に就任された上猶副市長にお話を伺いました。

Q. 延岡の印象を教えてください。

A. 私は高校を卒業するまで小林市野尻町に住んでいました。小林市野尻町から見た延岡の印象は、県内だけで遠く離れた大きな街で、大きな工場がたくさんある、裕福で都会的な市、という感じでした。今回、延岡市に赴任して、旭化成の存在が想像していた以上に大きいと実感しています。延岡の街を盛り上げるため、様々な地域活動にご協力いただくなど、延岡市にとってとても重要な役割を担っていただいていることが分かりました。6月にアスリートタウン延岡アリーナこけら落とし大会として開催された全日本実業柔道団体対抗大会では、旭化成の5連覇を見届けようと多くの市民の方がアリーナに会場され、大変な盛り上がりが見られました。旭化成に限らず、多くの企業や団体・市民の皆様が地域に誇りや愛着を持ち、まさに「オール延岡」で地域づくりに取り組んでいると感じています。4月の延岡大師祭に初めて行きましたが、人出の多さ、特に子どもや若い人の多さに驚きました。子どもの頃から歴史や文化をしっかりと学ぶ風土があるのだと思います。

Q. 延岡市初の女性副市長としての思いを教えてください。

A. 女性の登用という観点でお話させていただくと、正規雇用の女性の割合が増えれば自然と女性の登用率も上がってくると考えています。今はまだ、出産や子育てを理由とした離職もありますし、そもそも、職場に県庁や市役所であっても男性職員の割合が高い傾向があります。正規雇用で働く女性の割合が少ないので女性の登用率が上がらないということであれば、それを改

善するためには、出産や子育てを理由に離職したり働き方を変えたりしなくてよい、柔軟に働ける環境づくりが不可欠です。私自身は女性だからと必要以上に気負わず、性別関係なく果たすべき役割を果たしていきたいと考えています。その結果、女性の副市長がいるということが普通のことになっていけば嬉しいです。

Q. 長く仕事をされてきたと思いますが、女性であるために苦労されたことはありますか？

A. 30年近く前のことですが、民間企業で働いていた時、私が担当することになった企業から「女性をうちの担当にするなんて」とクレームが入ったことがあります。その時は上司が毅然と対応してくれたのですが、東京から福岡に転勤した直後だったので、九州はまだ男尊女卑が残っているのかとがっかりした記憶があります。県庁に入ってからはそのような経験はしていないので、その点は働きやすい環境だったと思います。少し前までは県庁でも残業や出張が多い部署など、女性が配置されにくいポストがあり、それは女性への配慮だったかと思いますが、最近は女性職員の割合が増え、女性登用が進んできています。

Q. 休日は何をされていますか？

A. 温泉が好きで、ヘルストピアにもよく行っています。アスリートタウン延岡アリーナのジムに行ってトレーニングをし、ヘルストピアに行くのが楽しみです。8月からプールも利用しています。ヘルストピアには、子どももたくさん来ていて、にぎやかでとても気に入っています。祝子川温泉にも行きました。

Q. 延岡市民へメッセージをお願いします。

A. 延岡は、山・川・海がある魅力的な場所です。海外からの観光誘致などにも力を入れているところですが、併せて、市民が行きたくなる場所があることが大切です。延岡大師祭をはじめとする「祭」や「愛宕山」、「島野浦」、「北浦」など、すばらしい伝統や場所がたくさんあります。市民の方が出かけたくなる、友人を連れていきたいくなる場所がこの先もずっと存在し続けるために、みなさんも是非、身近な良い場所に目を向けて足を運んでいただければと思います。市民一丸となって盛り上げていきたいですね。



バレーボール元日本代表 清水邦広さんと（本市で開催されたバレーボール教室で）



もうすぐ50周年を迎える 創作和太鼓団体 日向乃國 延岡雲海太鼓

代表 平野 勝己さん



Q. 雲海太鼓を発足した経緯を教えてください。

A. 昭和37年に当時の折小野良一市長が延岡市民に新しい郷土意識をもってもらうため「新ばんば踊り」を企画しました。当時、父が郷土芸能などの旧ばんば踊りをしていたので、折小野市長から「新ばんば踊り」に太鼓の音を入れて欲しいと依頼があり、和太鼓を入れることになりました。それが太鼓との出会いとなりました。その後、父から「創作和太鼓を作ってみないか」と言われ、昭和54年に「創作和太鼓 日向の國 延岡雲海太鼓」を発足し、今に至っています。当時は、創作和太鼓のチームはなく、最初に創作和太鼓を立ち上げたことになり、もうすぐ50周年となります。私の太鼓の根源は、ばんば踊りだと言えます。コロナから一時期は「新ばんば踊り」を踊る機会が少なくなっていました。私としては、この「新ばんば踊り」を未来に残していきたいと思い、小学校に行き、ばんば太鼓の指導をするようになりました。小学校での太鼓の指導は現在も続いています。私たちが延岡総合文化センターでイベントをする際に、1,000人くらいのお客様に来ていただいています。ばんば太鼓をしていて、いろいろな活動をしているのが広まっていき「和太鼓って面白い」と興味を持ってもらったからだと思います。

Q. 現在、活動している団員は何人ですか。

A. 雲海太鼓のチームは、現在10人くらいの団員で活動しています。練習は、月・水・金曜日の19時半から行っています。



Q. 和太鼓で目指しているもの、やってみたいことは何ですか。

A. キャッチフレーズにしているのが「心にひびけいのちの鼓動」です。お客様に聞いてもらって感動してもらって、和太鼓ってこんなに力強いものを持っているんだ、逆に優しいものも持っているんだ、滑稽なものも持っているんだ、いろいろな表現を感じてもらっています。そして、そのいろいろな表現を和太鼓に託しています。また、モットーとして、私自身が父から



日向乃國 延岡
雲海太鼓

会員と体験したい方を募集しています。

■体験の場合：毎週水曜日 19時半から
■会員練習日：月・金曜日 19時半から

連絡先：代表 平野 勝己さん TEL 090-8353-2019

天下一 光ちよる人

けんちゃん動物園 (赤水シーサイドパーク)

代表 高橋 健太さん

高橋さんは延岡市生まれで、小学校まで延岡市で育ち、中学校からはサッカーで県外の学校に進学しました。延岡に帰郷し「けんちゃん動物園」を令和8年1月24日にオープンした21歳(取材時)の若き実業家です。



Q. 動物園を始めようと思った理由を教えてください。

A. 子どもの頃から動物が好きでした。とにかく外で遊ぶことが好きで川や山で遊び、川で捕った魚を水槽で飼ったりしていました。サッカーを始めてからは、サッカーに夢中になり、サッカー選手になることを目標にしていたのですが、サッカー選手以外で何ができるかを考えた時に動物に関わる仕事しかないと思いました。また、知り合いの方から「子どもの遊び場所がない」という話を聞き、それなら自分がつくろうと思いました。



Q. 小動物の動物園にした理由を教えてください。

A. 動物園を始めるにあたって他の動物園などいろいろなところに勉強にきました。そこで、お客様から「動物園に行っても動物に触れない」という話を聞き、お客様が触れる、動物と触れ合える動物園にしようと思い小動物を中心に飼うことにしました。けんちゃん動物園を開園する前には移動動物園をしていました。その時は約20種類の動物を飼育していましたが、現在は、ボールパイソン(ヘビ)やマイクロミニブタ、イグアナ、フキオマキザルなど触れ合える動物を中心に約70種類を飼育しています。ヘビは首に巻くこともできますし、イグアナは抱っこすることもできます。

Q. 来場者はどのくらいですか。

A. 1月24日のオープンから約3万5千人

の来場者があり、5割が県外からで、6割がリピーターとなっています。(取材時)

Q. 動物の飼育方法は、どのように勉強されましたか。また、動物を飼う難しさはありますか。

A. 関西の動物カフェなどに行って飼育方を聞いたりしていますが、まずは育ててみるようにしています。餌の量などは、食べた量を統計にとって参考にしていますが、昨年とは温度も湿度も違うので、毎年同じではなく「今年は湿度が高いから」など考えながら飼育しています。とにかく、どれだけ動物を観察しているかが大事だと思います。相手は生き物なので、セオリーどおりにはいかないと思っています。その点では、飼育方法は独学になるかと思いますが、今でも関西方面に行って勉強しています。

Q. 動物園を開業するにあたり苦労したことはありますか。逆にうれしいことは何ですか。

A. 何にでも大変さはあり壁もあると思っているので、すべてが想定内だと考えています。ここは、2500坪あるのですが、ゴールデンウィークに2,000人の来場者があり駐車場が足りなくなりました。しかし、赤水地区の方が土地を貸してくれたりと協力してくれたので、乗り切ることができました。人生の目標が「人持ちになる」ことなので、いろいろな人と知り合ったり、お客様に喜んでもらえたりすることにやりがいを感じています。



Q. これからの目標を教えてください。

A. やりたいことはたくさんあります。まず、動物園で働きたいと思った人を雇用できる会社になりたいです。現在、スタッフは、従業員が3人とアルバイト15名で運営していますが、もっと雇用できるようになり、延岡で働きたい人の雇用の場になるのが目標です。また、動物園については、ザリガニ釣りなど自然の中で遊ぶ体験をしてもらいたいと思っています。そして、それを親子3代で楽しめる場所にしていきたいです。さらに、動物のための環境をもっと整備して、大きい動物も飼ってみたいです。



Q. これから起業する若者にアドバイスはありますか。

A. キャリア教育で話を頼まれたりもするのですが、まず、行動することが大事だと思います。

けんちゃん動物園



延岡市赤水町13-3(駐車場100台)
電話：070-2332-1114
入園料：500円(2歳未満は無料)
開園時間：10時～16時

休園日：月曜日
(月曜日が祝日の場合は営業)

けんちゃん動物園
Instagram



えるぼし認定・くるみん認定を取得しませんか。

～ 女性も男性も、誰もが輝ける職場環境を目指して～

えるぼし認定とは？

女性の活躍を推進します！

女性活躍推進法に基づき、女性の活躍推進に関する取り組みが優良な企業に厚生労働大臣が与える認定マークです。女性の採用、継続就業、労働時間等の働き方、管理職比率、多様なキャリアコースの5つの評価項目があり、取り組み状況に応じて1段階から3段階の認定が受けられます。

えるぼし
QRコード



くるみん認定とは？

子育てをサポートします！

次世代育成支援対策推進法に基づき、従業員の子育てを支援する取り組みが優良な企業に厚生労働大臣が与える認定マークです。企業が行動計画を策定し、目標を達成することで認定されます。男性の育児休業取得促進、所定外労働時間の削減、多様な働き方の推進など、具体的な取り組みが評価対象です。

くるみん
QRコード



認定を受けるとこんなメリットがあります

- 厚生労働大臣が定める認定マーク「えるぼし」・「くるみん」を商品、広告、求人広告などに使用でき、女性活躍推進や子育てサポート企業であることをPRできます。
- 企業イメージの向上、従業員のモラルアップやそれに伴う生産性の向上、優秀な従業員の採用・定着が期待できます。



えるぼしマーク



くるみんマーク

認定企業の声

こんなことがよかった！

※ 新潟労働局実施のえるぼし・くるみん認定企業へのアンケート調査結果より。

- 企業努力が目に見える形となり、会社のイメージアップに繋がった。
- 名刺にロゴマークをプリントすることで、名刺交換の際に目にとめていただきお客様との話題作りに活かされている。

えるぼし

- 就職企業説明会で女子学生からも興味・関心を持ってもらった。
- 認定を取得していることで「ワークライフバランスなどがしっかり取り組まれている印象がある」との声をいただいた。
- 業務内容を見直し、職員の残業が減ってきたことが定着率の向上、モチベーション向上に繋がった。
- 認定を通じて女性だけでなく男性も含め、さらに働きやすい職場環境を推進するという意識が社内広がっているということを実感している。

くるみん

- 働きやすさの目安として、採用応募者が認定を受けている当社に注目して下さっていることが面接等を通じて伝わってきた。若年層の応募増加にもつながっているように感じる。
- 男性社員でも育児休業や子の看護休暇などが取得しやすくなった。従業員の理解も進んでいる。
- 会議体や社内報等でのトップからの発信によって、社員のモラル向上が図られた。

宮崎県女性にやさしい職場づくり応援事業のご案内

宮崎県では、女性がいいきと働ける職場づくりに取り組む企業・事業主を支援するため、以下の取組等に対して奨励金・補助金を支給しています。ぜひご利用ください。

- ① えるぼし(厚生労働大臣認定)の取得等：奨励金100万円
- ② 女性の「積極採用」「配置・育成」「管理職登用」「多様な働き方推進」の取組：奨励金15～100万円
- ③ 女性が働きやすい環境整備：補助金10～60万円(補助率2分の1以内)

詳しくは、
宮崎県ホームページを
ご覧ください。



10代だけのものじゃもったいない！大人もハマるYAの世界

「YA (ヤングアダルト)」という言葉聞いたことはありますか？主に10代の若者を対象にした本のことですが、専門用語を使わずに本質をわかりやすく伝えてくれるため、大人の「入門書」としても隠れた人気を集めています。ジャンルも小説から社会・AI・生き方・実用書まで実に多彩です。(図書館にはYA コーナーが作られています)

今の子どもたちは、「α (アルファ) 世代」と呼ばれています。生まれた時からAIや動画配信、タブレット端末が当たり前存在する環境で育っています。親世代には追いつけない部分も多く、時には思いがけない危険にさらされてしまうことも……。

今回は、そんなデジタル時代を生きる子どもたちと、ぜひ一緒に読んでほしい2つのシリーズ本をご紹介します。

おすすめの2シリーズ

『ぼくのたった一つのミス』シリーズ

1. SNS/AI 編
2. ゲーム編
3. 検索エンジン/アプリ編

(岩崎書店／各 1,650 円)

身近に実際起こった事例をもとに、「ひとつ間違えると大変なことになる」というリアリティを教えてくれるシリーズ。デジタルに囲まれて暮らす子どもたちはもちろん、現代を生きる大人にとっても必須の知識が分かりやすくまとめられています。



『今日、誰のために生きる？』 『今日、誰のために生きる？2』

(廣済堂出版／各 1,760 円)

ペンキ画家の SHOGEN さんがアフリカの「ブンジュ村」で学んだ、生き方のヒントが詰まったノンフィクション。デジタル世界にいるからこそ、虫の声に耳を澄ませたり、絵本の質感を感じたりする「五感を使うリアルな体験」や温かい言葉が心に響きます。

※知っていますか？虫の声や川のせせらぎを「美しい(音)」として愛でる感性を持つのは、世界でも日本人とポリネシア人だけとされているそうです。本書は日本語の美しさや、生き方そのものを再確認させてくれます。

知育だけでなく、心を守り、感性を育むきっかけとして……ぜひ家族で本を開き、感想を語り合ってみませんか？



注：『今日、誰のために生きる？』はソラトウミ舎から新装版が出ています (2,090 円)

私たちは異常気象にどこまで耐えられるのだろう

のべおか男女共同参画会議 21 会長 土井 裕子

最近、日本の各地で凄まじい集中豪雨が続いている。千葉の集中豪雨など浸水で動けなくなった車が、2700台にも上ったという。

ネパールの土石流では日本人の家族も巻き込まれた可能性が高いと言われ、その氷河や岩の凄まじい崩落量に愕然とするし、スイスでも氷河の崩落による土石流が数カ所で発生して村が土石流で消滅したりしている。

すべて原因は、地球温暖化と言われているが、一方でAIの急激な活用により、そのデータセンターでは、膨大な電気と冷却用の水が必要で、各国でその争奪戦も始まっているという。資源小国である日本は、備蓄にゆとりがあると言いながらも、ホルムズ海峡の封鎖にいつまで耐えられるのかは分からない。

しかしこの酷暑で、熱中症予防のため夜中もクーラーを掛けっぱなしで暮らして、異常気象をさらに進めることになっている。

せめてささやかな効果しかなくても、暑い街を涼しくするため街中に街路樹をたくさん植えて木陰を作り、木の葉のフィルターで空気を冷やすような取り組みも考える時ではないだろうか。



響さん紹介

タイトル「響」について

『響』には、「声・音が伝わる。」「声・音が跳ね返ってくる。」「広く知れ渡る。」「影響を与える。」「心に感じさせる。」等の意がある。この『響』が、あなたの心に響き、影響を与え、あなたからの情報が「打てば響く」ように跳ね返ってきてほしい。「あなたと響き合いたい」との気持ちでいっぱいです。

題字『郷音』

森 明美 さん

河内書道教室



私が習っている河内書道教室は、小学生から大人まで幅広い世代が通っています。

自分のペースで楽しく書道を学べ、墨の香りに包まれながら日常を離れた心地よい趣味の時間になっています。

写真『延岡の風景』 土本 玲菜 さん

宮崎県立佐土原高等学校
産業デザイン科2年
写真部



幼い頃から当たり前のように身近にあった延岡の風景を1枚1枚切り取った作品集です。「千人殺しの石垣」「須美江海岸」「山下新天街」「延岡駅」「踏切…」、高校の部活動ではじめて写真の撮影を通してカメラ越しに見た何気ない風景の魅力に心動かされシャッターを切りました。どの風景も今の自分の目にはとても新鮮で力強く映りました。幼少期からの親しみと、いま改めて感じた感動をそのまま切り取った写真達です。

◆ 延岡市男女共同参画センター

配偶者等からの暴力・男女共同参画等に関する相談

☎ 0982-22-7056

◆ 延岡市消費生活センター

借金・消費生活に関する相談

消費生活に関する無料弁護士相談【要予約】

☎ 0982-26-0111

延岡市男女共同参画推進室

延岡市桜小路 360-2 (川中コミセン 2F)

月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始は休み)



悩んでいるのは
あなたひとりではありません。
勇気を出して
一歩踏み出してみませんか？
相談は無料。秘密は守ります。
お気軽にご相談ください。

編集後記

今回も素敵な出会いがありました。どの方のお話からも『延岡』に対する深い愛情が伝わってきました。この自然豊かで暮らしやすい街、大切にしていきたいと思いました。「響」の編集に参加して2年目、取材にも少しずつ慣れてきました。取材を通して改めて延岡のよさを再確認しました。長年延岡に住んでいても、知らないことがまだまだたくさんあります。これからも、延岡の魅力をたくさん発信していけたらと思います。

編集委員／ゆみ K、ひろこ B、ひろみ H、ゆみこ Y、あけみ N